

文京区職員・教職員のための性自認及び性的指向に関する対応指針について意見募集結果

(1) パブリックコメント

意見の募集期間	平成28年12月15日（木）～平成29年1月13日（金）
意見提出者数	6人（電子メール4人、FAX2人、持参0人）：15件

(2) パブリックコメントにおける意見

No.	項目	意見（要旨）	件数	区の考え方
1	全体	<p>このような指針ができたことを大変うれしく思う。SOGIの理解啓発へのきっかけになることを大いに期待している。</p> <p>指針全体を通じ「性自認」については大きく取り扱っているが、「性的指向」が弱いと感じるため、同性愛などについても同じように取り扱って欲しい。</p> <p>男女平等参画という名の時代の流れで、従前から守られてきた伝統的な価値観を変えるのはよくないと思う。自分で判断が十分にできない年齢を持つ親として、教職員の方々の影響は強く、性の問題については公的機関から教えられるのではなく、また、押しつけられるのではなく、家庭で家族でしっかりとした価値観を持ち教育するものだと思っているので、本指針を自治体として作成することに反対である。</p> <p>日本社会も伝統的に男らしさ、女らしさを基調にして、「家庭」を重視した文化を築いてきた。自分は息子の男性として生まれたことへの誇りと責任をもって生きて欲しいと伝えている。それを「性は多様だ」という論理で、生きる基本である「男らしさ、女らしさ」に否定的な感情を植え付け、あたかも「自分の性は自分で選ぶもの」と錯覚させる一方的な思想を学校現場に持ち込むことに反対である。</p> <p>弱者を実質的に保護していくためにも、最も適しているのは「家族」であり、今回のように行政窓口での対応の徹底など、LGBTといわれる性的少数者の人権尊重を必要以上に意識し、社会制度を変えていくことは、いずれ日本社会の根幹である家族制度、婚姻制度の否定につながりかねない危険性を含んでいるように危惧する。区議会や再度のパブリックコメント等の慎重な議論を望む。今回のパブリックコメントも昨日、新聞報道で初めて募集していることを知り、問題意識を持った。</p> <p>子どもたちは男性であれ、女性であれ本来の性に基づいて将来幸せな家庭を築いていけるように、家庭はもちろん学校現場などで教育すべきなのではないか。LGBTの指向性を持った子どもたちにもいったんは多様性として受け入れ、いじめや差別がおこらないように対応、周りに理解を促しながらも、「大人になって多様な性の生き方を育んでいる人もいるし、〇〇さんは、まだ発達段階にあるのだから、将来的に本来の性で幸せに生きる道もあると思うよ」という本来の性（生物学上の性）に基づく生き方があることを必ず示してほしいと思う。それが、親や教師の持つべき姿勢ではないかと思う。</p> <p>性自認及び性的指向に関する対応が、是非、伝統的な家庭や文化、価値観の素晴らしさを阻害するものでないようお願いする。未来の国づくりの大切な子どもたちを安心して預けられる文京区にして下さい。</p>	6	<p>指針に基づき理解啓発に努めてまいります。</p> <p>同居の方やパートナーが異性とは限らないことなど、掲載事例の追加を検討します。</p> <p>このたびの指針は、社会の制度や価値観等を変えるものではなく、区政に従事する職員や教職員が、性自認や性的指向が多様であることの知識がないことによって、人権侵害となる言動をとることのないように作成したものです。</p> <p>「異なること」や「〇〇らしくない」ことを含め、いかなる理由でもいじめや差別などの人権侵害は許されません。</p> <p>また、性自認や性的指向は、自らの意思で変えられるものではなく、このことについて指導を行うものではありません。</p> <p>成長過程にある子どもから、性別の違和感や同性への感情の悩みなどの相談が教師等にあった場合には、画一の対応ではなく、その子どもの状況などに応じて配慮することとしています。</p>
2	区民対応について	<p>研修会、講座、勉強会などでの予防的教育的に理解啓発を進めて欲しい。</p> <p>継続した息の長い理解啓発活動が続くことを期待する。</p>	2	指針に基づき、理解啓発に努めてまいります。

No.	項目	意見(要旨)	件数	区の考え方
3	子どもを取り巻く環境について	<p>教職員に対しても積極的な研修(予防的教育的な取組みを含む)を希望する。</p> <p>教員の方々には、問題発生後の事後対応ではなく、授業の中で予防的教育的にSOGIについて扱ってほしい。積極的な指導が数年後の文京区民に影響する。文京区の学校でSOGIの教育を受けた児童生徒が、多様性を理解する文京区民になることは素敵なことだと思う。</p> <p>今回は総務部の担当がけん引しているが、教育委員会の教育方針「人権教育」との横の連携、関係性が明確だと区全体としての説得力が増すのではないかと。教育委員会との密な連携を期待するとともに、文部科学省からの通知も含めて、総括的に扱うことが望ましい。</p> <p>児童生徒への積極的な指導は、当事者の児童だけでなくそれ以外の児童生徒の理解啓発も大きな効果が期待できる。SOGIについて考えることを通して、人の「生き方」「在り方」について考えることは、自分のキャリアについてもつながると確信している。</p> <p>小・中学生は自己のアイデンティティが揺らぎやすい時であり、「性の多様性」という言葉に振り回され、かえって男性として、女性としての自己のアイデンティティを見失う危険性がある。将来結婚して、立派な父親になる、素敵な母親になるという子どもたちの夢を阻害し、摘み取ってしまう危険性があると感じる。</p> <p>指針文中の「発達段階に応じた人権教育」という言葉の背景に子ども達の伝統的な家庭観を壊すことへの野心のような怖さを感じる。小・中学校では、父母への感謝の念を育んだり、親になっていくことの大切さや尊さを教える教育を重視し、性自認及び性的指向に関する対応に関しては、教職員による個別対応に留めてくださるようお願いしたい。</p> <p>知人より都内他区で行われたLGBT当事者を招き、性の多様性に関する教育を受けた中学生が以下のような感想を言っていたときいた。 (中学生の感想) 「私はこの授業を受けてから、私は男性と女性のどちらが好きなのだろうか?と考えました。だけど、今も考えています。赤ちゃんは欲しいなと思うけど、同性が好きなのか、異性が好きなのかそれとも両性が好きなのか。わかりません。だけど、恋愛感情っていうものがどういふものかもあんまりわからないから、これからゆっくり考えていきたいと思えます。」 この感想から、恋愛や結婚に十分判断能力が育っていない子供たちに、「男女間の恋愛・結婚」と同性愛・同性婚の価値を並列なものとして刷り込むことは、LGBTの方々への差別をなくすこと以上に子どもたちの結婚観・家庭観を混乱させる結果になると危惧する。行政対応もそうだが、特に子ども達が関わる場には一層の配慮を求める。</p>	7	<p>指針に基づき理解啓発に努めてまいります。</p> <p>文部科学省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」、東京都「人権教育プログラム」に基づき、人権教育の一環として、実施してまいります。</p> <p>性自認や性的指向の多様性に関しては、文部科学省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」、東京都「人権教育プログラム」に基づき、人権教育の一環として実施してまいります。 性自認や性的指向は、自らの意思で変えられるものではないので、このことについて指導を行うものではありません。 成長過程にある子どもから、性別の違和感や同性への感情の悩みなどの相談が教師等にあった場合には、画一の対応ではなく、その子どもの状況などに応じて配慮することとしています。</p>

(3) 区民説明会での質問

開催日	平成28年12月17日(土)
出席者数	12月17日(3名)、意見1件

(4) 区民説明会における意見

No.	項目	意見(要旨)	件数	区の考え方
1	12月17日	本人の望まない職場や学校や保護者などによるアウティングによる事例が多いので、その注意が明記されていて良いと思う。	1	このことにつきましては指針の14ページに記載しており、今後周知に努めてまいります。